

日本語教室「学びの扉」について

当院は2024年から海外人材の採用を進めています。現在はインドネシア人12名、ミャンマー人2名が勤務しています。

当院に就職してくる方々は、日本語レベルN2・N3レベルの方々です。N3レベルの方々は日常で使われる日本語をある程度理解できるレベルです。

N2レベルの方々は日常で使われる日本語が理解でき、それ以外の場面で使われる日本語もある程度理解できるレベルです。

私は前職でEPA看護師育成を担当していました。対象はフィリピンの方です。この方々が看護師国家試験に合格できるように教育・指導をしておりました。今回、この経験を活かし日本語教室を開催する事にしました。

日本語教室「学びの扉」では、日本の文化・日本人の特性・介護業務について・日本語語彙・文法などの講義をしています。

私たちは海外人材の方々と「共成社会」を築いていかなければなりません。この「共成社会」に向けた一つの取り組みがこの日本語教室の活動と考えています。私たちが海外の方々と良い介護が提供できるように努めていきます。

今後も高台病院の介護のレベルが向上しますように、皆様方に見守って頂きたいと思います。宜しくお願いいたします。



日本語教室



1月28日 N2
学びの扉 2クラス



看護部長 平塚 世津子

1月は「日本の行事」などについて学びました

「学びの扉」の様子



私物について

病室は患者様お一人お一人のスペースが限られております。感染予防の観点から、紙類や布類は濡れたり汚染された場合、感染源となる可能性があります。そのため、私物は必要最小限としていただき、定期的な整理や洗濯にご協力をお願いいたします。

また現在、病棟スタッフで私物の管理を行っておりますが私物が増えている状況です。そのため、下記の物品のみを管理させていただきます。

- ・テレビラジオに関するもの
- ・義歯眼鏡補聴器
- ・ブラシ髭剃り爪切り
- ・置時計
- ・靴などリハビリに必要な物品
- ・家人より申告されたもの



上記以外のものはご本人様ご家族様の責任において管理をお願いいたします。

お知らせ

患者様により良い入院生活を過ごしていただくためにアンケート調査を実施します。

同封のアンケートは、3月10日までにご回答いただき、ご面会時に受付にお渡しいただくかQRコードでの回答をお願いいたします。